第35講 ナポレオン・ウィーン体制

1

ナポレオン＝ボナパルトは(1)〔　　〕の貧乏貴族出身で，砲兵士官になり革命中はジャコバン派を支持，テルミドールの反動で一時投獄された。1795年には王党派のヴァンデミエールの反乱を鎮圧し国内軍司令官に任命された。1796年には(2)〔　　〕司令官として第1回イタリア遠征で(3)〔　　〕軍を撃破し(4)〔　　〕の和で(5)〔　　〕を解体，この条約でフランスは南ネーデルラント（ベルギー）とアドリア海諸島を獲得した。

1798年イギリスのインド支配打倒を目的とした(6)〔　　〕遠征の(7)〔　　〕の戦いで(8)〔　　〕率いるイギリス艦隊に敗北，この遠征のときナイル河口で(9)〔　　〕の碑文が発見された。このとき(10)〔　　〕(1799～1802年）が結成された。この間の(11)〔　　〕年の11月9日，(12)〔　　〕で(13)〔　　〕を樹立しフランス革命に終止符を打った。

【統領政府】統領政府はフランスの銀行資本に財政的に支援され，シェイエス，ディコス，そしてナポレオンの3人の統領だったが，事実上，**第1統領**ナポレオンの独裁だった。第2次(14)〔　　〕(1800～1801年）でオーストリアをマレンゴの戦いで破った。リュネヴィル条約でライン左岸をオーストリアより獲得，1802年の(15)〔　　〕でイギリスと和約，第2回対仏大同盟を解体した。

共和国第8年の憲法で所有，平等，自由の原則を掲げ，1800年には(16)〔　　〕を設立した。1802年，教皇(17)〔　　〕との宗教和約＝(18)〔　　〕でカトリックを許可，しかし革命時の没収教会財産は返還しなかった。のちナポレオンは教皇ピウス7世をフォンテンブローに幽閉する。また同年，黒人奴隷制度が復活した。

1802年，公教育一般法を制定，(19)〔　　〕年には，フランス民法典＝(20)〔　　〕を発布した。全文2281条で人身の自由，法の前の平等，(21)〔　　〕の絶対，(22)〔　　〕の自由，良心の自由などブルジョワ市民社会の基本的権利を規定した。“余の名誉は40回に及ぶ戦勝ではない。永遠に残るのはこの民法典である”

解答

（1）コルシカ島　（2）イタリア遠征　（3）オーストリア　（4）カンポ＝フォルミオ
（5）第1回対仏大同盟　（6）エジプト　（7）アブキール湾　（8）ネルソン
（9）ロゼッタ＝ストーン　（10）第2回対仏大同盟　（11）1799
（12）ブリュメール18日のクーデタ　（13）統領政府　（14）イタリア遠征
（15）アミアンの和　（16）フランス銀行　（17）ピウス7世　（18）コンコルダート
（19）1804　（20）ナポレオン法典　（21）私的所有権　（22）契約

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【第1帝政】(23)〔　　〕年，国民投票で皇帝に就任(24)〔　　〕を名乗る。皇后は(25)〔　　〕。(26)〔　　〕寺院に教皇(27)〔　　〕を呼びつけ戴冠させた。その絵を描いた画家が(28)〔　　〕である。これにたいして(29)〔　　〕が結成される。(30)〔　　〕年には「黒いジャコバン」(31)〔　　〕の革命の結果，(32)〔　　〕がフランスから独立した。

(33)〔　　〕年の(34)〔　　〕の海戦では再び(35)〔　　〕に破れイギリス上陸作戦に失敗したが，12月2日には霧の中(36)〔　　〕の3帝会戦ではロシアの(37)〔　　〕とオーストリアの(38)〔　　〕を破りヨーロッパを恐れさせ，英首相小ピットは心痛から死亡した。こうして第3回対仏大同盟が解体した。

【最盛期】(39)〔　　〕年には南西ドイツつまり(40)〔　　〕と(41)〔　　〕を除く全ドイツの保護者となり(42)〔　　〕を結成，1648年のウェストファリア条約で既に有名無実化していた(43)〔　　〕が滅亡した。兄ジョセフを(44)〔　　〕王のち(45)〔　　〕王（1808年）弟ルイ（後のナポレオン3世の父親）をフランス革命の影響でバタヴィア共和国となっていた(46)〔　　〕王にした。

(47)〔　　〕の戦いでプロイセンとロシアを破り(48)〔　　〕を占領した。占領下のベルリンで(49)〔　　〕が『(50)〔　　〕』という連続講演を行い**ドイツのナショナリズムが高揚**した。ナポレオン法典がドイツの民情に合わないので(51)〔　　〕は(52)〔　　〕派を始め，その弟子が『**グリム童話**』を書いた。1806〜07年の(53)〔　　〕で対英経済封鎖とフランス資本の大陸市場独占を図ったが，これはむしろ大陸諸国にとって大打撃だった。

(54)〔　　〕年の対ロシア，対プロイセンの(55)〔　　〕でプロイセンの領土を半減させ，その西にボン生まれの(56)〔　　〕が生活した(57)〔　　〕，東に(58)〔　　〕という傀儡政権を建設した。

1808年にスペインを征服するが(59)〔　　〕では(60)〔　　〕（小さい戦争の意）に悩まされ，最後まで鎮圧できなかった。その時の絵が(61)〔　　〕の**「1808年5月3日」**だ。**プラド美術館（マドリード）蔵。**

解答

(23) 1804　(24) ナポレオン1世　(25) ジョセフィーヌ　(26) ノートルダム
(27) ピウス7世　(28) ダヴィド　(29) 第3回対仏大同盟　(30) 1804
(31) トゥサン＝ルーベルチュール　(32) ハイチ　(33) 1805　(34) トラファルガー
(35) ネルソン　(36) アウステルリッツ　(37) アレクサンドル1世　(38) フランツ2世
(39) 1806　(40) オーストリア　(41) プロイセン　(42) ライン同盟
(43) 神聖ローマ帝国　(44) ナポリ　(45) スペイン　(46) オランダ
(47) イエナ・アウエルシュタット　(48) ベルリン　(49) フィヒテ
(50) ドイツ国民に告ぐ　(51) サヴィニー　(52) 歴史法学　(53) 大陸封鎖令
(54) 1807　(55) ティルジット条約　(56) ベートーベン　(57) ウェストファリア王国
(58) ワルシャワ大公国　(59) 半島戦争　(60) ゲリラ　(61) ゴヤ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

プロイセンでも国政改革がすすんだ。(62)〔　　〕の**農民解放**，都市自治，それを受け継いだ(63)〔　　〕の農民への土地授与，中央政府機構の整備などの改革，シャルンホルスト，グナイゼナウの国民軍の創設などの軍政改革，(64)〔　　〕の教育改革と (65)〔　　〕の創設（1811 年）などがそれである。ベルリン大学の初代の総長が(66)〔　　〕。のちに世界史を「絶対精神実現のプロセスだ」と単線的な進歩史観で定義した**弁証法**の (67)〔　　〕も教壇に立った。

ナポレオンは 1810 年オーストリアの皇女**マリ＝ルイーズ**と結婚した。

【斜陽期】大陸封鎖令に違反した懲罰として始まった (68)〔　　〕では (69)〔　　〕の戦いののち(70)〔　　〕を占領したが，ロシアの (71)〔　　〕将軍の焦土戦術の前に失敗，1813 年 (72)〔　　〕が結成されヨーロッパの大半の国が参加，(73)〔　　〕の諸国民戦争で墺，普，露の連合軍に破れ(74)〔　　〕へ流された。1814 年４月に退位し (75)〔　　〕が開催されるが“議会は踊る，されど進まず”でそのうちナポレオンがエルバ島を脱出，1815 年３月 20 日から６月 22 日までの**百日天下**にたいし，**第５回対仏大同盟**が結成され，(76)〔　　〕の戦いでイギリスの (77)〔　　〕とプロイセンのブリュッヘルに破れ，南大西洋の (78)〔　　〕に流された。

ナポレオンはヨーロッパに２つの種を蒔いた。**自由主義**の種と**国民主義**の種。占領地域に『ナポレオン法典』を適用し自由主義経済の原則を根づかせた。また侵攻され占領された地域のナショナリズム（国民意識）を覚醒させた。

解答

(62) シュタイン　(63) ハルデンベルク　(64) フンボルト　(65) ベルリン大学
(66) フィヒテ　(67) ヘーゲル　(68) ロシア遠征　(69) ボロジノ　(70) モスクワ
(71) クトゥーゾフ　(72) 第４回対仏大同盟　(73) ライプツィヒ　(74) エルバ島
(75) ウィーン会議　(76) ワーテルロー　(77) ウェリントン　(78) セントヘレナ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

2

【ウィーン会議】ナポレオン１世を (1)〔　　〕に流し，オーストリア・ハプスブルク家の宰相 (2)〔　　〕のお膝元(ひざもと)で (3)〔　　〕が開かれ**ウィーン体制**（メッテルニッヒ体制）が始まった。会議の中心は，フランス外相 (4)〔　　〕とロシア皇帝 (5)〔　　〕世の三人。

「会議は踊る，されど進まず」と言われ舞踏会ばかりで議事進行がままならず，途中ナポレオンが脱出して再度皇帝になった。

ウィーン体制の原則は**タレーランが提唱(ていしょう)した** (6)〔　　〕で，**フランス革命勃発時（1789 年７月 14 日）の支配者・領土が正統**というものだ。

同盟は (7)〔　　〕。**アレクサンドル１世が提唱**したもので，キリスト教の友愛精神による秩序(ちつじょ)維持が趣旨であるが，英外相カッスルレーはナンセンス！と言った。ギリシア正教会の世俗代表のロシア皇帝の言う「友愛」に，カトリックの教皇，英国国教会のイギリス，イスラームのオスマン帝国は参加せず，実質的な同盟は (8)〔　　〕だった。**イギリス・オーストリア・プロイセン・ロシアの四国で後にフランスも加わり五国同盟**となった。

ウィーン体制の基本的性格は**保守反動。王家による支配を保ち守って，革命・民族運動・国民による国家形成はおさえこむ**というものだ。

【(9)〔　　〕】ウィーン会議による決定事項として以下のことを暗記しよう。

①**フランス・スペイン・ナポリ**で (10)〔　　〕が復活

②イギリスはオランダから (11)〔　　〕（現スリランカ），(12)〔　　〕，フランスから (13)〔　　〕を獲得

③オーストリア＝ハプスブルク家は (14)〔　　〕・(15)〔　　〕を回復

④南ネーデルラント（現ベルギー）は (16)〔　　〕領に

⑤ドイツはライン同盟が廃止され，主権がある 35 君主国４自由市（リューベック・ハンブルク・ブレーメン・フランクフルト）から成る (17)〔　　〕になり，(18)〔　　〕が議長国，(19)〔　　〕に連邦議会

解答

（１）エルバ島　（２）メッテルニヒ　（３）ウィーン会議　（４）タレーラン
（５）アレクサンドル１　（６）正統主義　（７）神聖同盟　（８）四国同盟
（９）ウィーン議定書(ぎていしょ)　（10）ブルボン家　（11）セイロン島　（12）ケープ植民地
（13）マルタ島　（14）ヴェネツィア　（15）ロンバルディア　（16）オランダ
（17）ドイツ連邦　（18）オーストリア　（19）フランクフルト

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑥プロイセンは(20)〔　　〕の北半分と(21)〔　　〕を領有しいよいよフランスに接近

⑦ロシアは(22)〔　　〕を獲得

⑧ロシア皇帝は(23)〔　　〕立憲王国を支配（事実上第４次ポーランド分割）

⑨スウェーデンはデンマークから(24)〔　　〕を獲得

⑩スイスは(25)〔　　〕に

ウィーン体制がその理念どおり自由を抑圧できた例は４つ。ドイツの(26)〔　　〕の運動，イタリアの(27)〔　　〕の運動，スペインのリェゴによる(28)〔　　〕，ロシアの(29)〔　　〕。逆に抑えなかった２例が(30)〔　　〕の独立と(31)〔　　〕の独立だ。

解答

(20) ザクセン　(21) ラインラント　(22) フィンランド　(23) ポーランド
(24) ノルウェー　(25) 永世中立国　(26) ブルシェンシャフト　(27) カルボナリ党
(28) 立憲革命　(29) デカブリストの乱　(30) ギリシア　(31) ラテンアメリカ諸国

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

3

ラテン＝アメリカ初の独立国，世界初の黒人共和国はフランス植民地サント＝ドマングつまり(1)〔　　〕だ。「黒いジャコバン」といわれた(2)〔　　〕が指導，ナポレオンが介入したが 1804 年に独立宣言 1806 年に独立した。

ベネズエラやアルゼンチンではスペイン本国の重商主義政策への反発と安価なイギリス製品を求め自由貿易体制への移行を望んだ。1808 年の(3)〔　　〕のスペイン侵攻を機に独立運動が始まった。

【シモン＝ボリバルとサン＝マルティン】(4)〔　　〕はコロンビアを転戦し亡命生活を経てベネズエラに再上陸，(5)〔　　〕年には(6)〔　　〕・(7)〔　　〕((8)〔　　〕を含む)・(9)〔　　〕を(10)〔　　〕として独立させた。1830 年には各々に解体した。

1816 年にはラプラタ連合が(11)〔　　〕として独立宣言，1825 年にはイギリスの調停でブラジルとの緩衝地帯として(12)〔　　〕が形成された。1817 ～ 18 年(13)〔　　〕はアンデス山脈を越えて(14)〔　　〕を解放。スペインの南米支配の本拠地(15)〔　　〕（現ペルー）を 1821 年に解放し，1822 年には**エクアドルのグアヤキルでシモン＝ボリバルと会見し後事を託す**。ボリバルは内陸部アルト＝ペルーの王党派を撃破して(16)〔　　〕が独立，名称は彼の名に由来する。

【メキシコ】メキシコのような本国スペインとの経済的結びつきの強い地域では(17)〔　　〕も保守的だった。1810 年には下級クリオーリョの(18)〔　　〕神父が奴隷制廃止などの急進的要求を掲げた運動を始め先住民やメスチーソが多数参加したが 1811 年に処刑された。1813 年にはメスチーソの(19)〔　　〕が奴隷制廃止，土地改革を主張して独立宣言したが 1815 年に処刑された。

1820 年にスペイン本国で(20)〔　　〕によるブルボン家への立憲革命が起き 1812 年自由主義憲法が復活した。この影響でメキシコも独立に傾き 1821 年(21)〔　　〕を皇帝に独立した。メキシコでは 1855 年に法相(22)〔　　〕による改革がなされ既得権にメスが入った。保守派やカトリック教会は(23)〔　　〕に支援を要請，フランス・スペイン・イギリスがメキシコ出兵，共和政府を倒しオーストリア皇帝の弟マクシミリアンを皇帝に擁立した。

解答

（１）ハイチ　（２）トゥサン＝ルーヴェルチュール　（３）ナポレオン１世
（４）シモン＝ボリバル　（５）1819　（６）ベネズエラ　（７）コロンビア
（８）パナマ　（９）エクアドル　(10) グラン（大）＝コロンビア　(11) アルゼンチン
(12) ウルグアイ　(13) サン＝マルティン　(14) チリ　(15) リマ　(16) ボリビア
(17) クリオーリョ　(18) イダルゴ　(19) モレロス　(20) リェゴ　(21) イトゥルビデ
(22) フアレス　(23) ナポレオン３世

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

しかしメキシコ民衆の反乱や疫病でフランス軍は壊滅，南北戦争を終えた合衆国の介入もあり**フランス軍はマクシミリアンを見捨て撤兵，皇帝は銃殺**された。

このフアレスのもと対仏戦争に活躍したが後に反動化したのが (24)〔　　〕。かれは 1910 ～ 17 年のメキシコ革命で打倒されるまで独裁体制を維持した。ディアスを打倒し大統領になったのが (25)〔　　〕だが, 土地改革に否定的で (26)〔　　〕指導の農民勢力と対立したので政権は不安定でクーデターで暗殺された。

(27)〔　　〕は (28)〔　　〕に勝利し大統領に就任し 1917 年に，土地改革・地下資源の国有化・政教分離・社会的権利の保障などを定めた憲法を発布したが，憲法を履行せず民衆の支持を失い暗殺された。サパタはカランサ派に暗殺された。

【ブラジル】唯一ポルトガル領だったのが (29)〔　　〕。ナポレオン戦争期にイギリスがポルトガル王室をブラジルに避難させた。ナポレオン失脚後，王は帰還したが王子が 1822 年に皇帝に即位し独立を宣言。1889 年には共和国になった。**社会学の祖で実証主義哲学を体系化した**といえばフランスの (30)〔　　〕だが, 彼が始めた宗教が人間教。その信者が多いからブラジル国旗は地球をかたどっている。

(31)〔　　〕年に (32)〔　　〕で**初の革命によらない社会主義政権を樹立，鉱山国有化**したのが (33)〔　　〕。アジェンデ政権を (34)〔　　〕年に打倒し権威主義政府を樹立，国民を弾圧したのが (35)〔　　〕。1990 年代ペルーの日系人大統領が (36)〔　　〕。キューバ革命のアルゼンチン人，1967 年ボリビアで死亡したのが (37)〔　　〕。戦後アルゼンチンで国家社会主義政策，妻がエビータと言えば (38)〔　　〕。

解答

(24) ディアス　(25) マデロ　(26) サパタ　(27) カランサ　(28) メキシコ革命
(29) ブラジル　(30) コント　(31) 1970　(32) チリ　(33) アジェンデ　(34) 1973
(35) ピノチェト　(36) フジモリ　(37) チェ＝ゲバラ　(38) ペロン

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第35講　テスト

1　ブリューメル18日のクーデターで倒されたのは。

①　立法議会
②　総裁政府
③　国民公会
④　統領政府

2　第1帝政が始まったのはいつか。

①　1792年
②　1804年
③　1815年
④　1830年

3　ウィーン会議によって即位したのは。

①　シャルル10世
②　ルイ18世
③　ルイ＝フィリップ
④　ルイ＝ナポレオン

4　古い順に並べかえた場合に3番目にくるのは。

①　ワーテルローの戦い
②　ライプツィヒの戦
③　アウステルリッツの三帝会戦
④　トラファルガーの海戦

5　古い順に並べかえた場合に3番目にくるのは。

①　ライン同盟成立
②　ワルシャワ大公国成立
③　『ナポレオン法典』成立
④　ロゼッタ＝ストーン発見

6　正統主義を唱えたのは。

①　メッテルニヒ
②　タレーラン
③　アレクサンドル1世
④　ディズレーリ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

7　神聖同盟に加盟しなかったのは。

① ロシア
② フランス
③ イギリス
④ オーストリア

8　ウィーン会議においてイギリスが獲得した領土は。

① キプロス島
② キオス島
③ セイロン島
④ クレタ島

9　ウィーン会議の結果，ポーランドを実質支配することになった国は。

① オーストラリア
② ロシア
③ オスマン帝国
④ スウェーデン

10　ウィーン会議の結果，南ネーデルラント（ベルギー）はどの国の領土になったか。

① イギリス
② フランス
③ オランダ
④ スペイン

第 35 講　テスト解答

1 ②	2 ②	3 ②	4 ②	5 ①	6 ②
7 ③	8 ③	9 ②	10 ③		

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。